

理容 やまがた

第355号

発行所

山形県理容業環境衛生同業組合

〒990山形市清住町3-2-65 電話(0236)45-3525

発行者 梅津 鶴彦 編集者 志鎌 伝郎

購読料1部10円 毎月1回発行

組合員の購読料は賦課金の中に含まれて居ります



去る、十月三十日（庄内酒田総合文化センター）に於いて庄内四支部より多数の組合員の方々の参加により午前十時四十分開催されました。会議には県組合より梅津理事長・松田・小川・本間各副理事長・各部部長が出席・庄内ブロック会長・梅津理事長・開催支部長の挨拶に続き各部長・ブロック理事の紹介と一連のセレモニーが終了した。議事は各部部長が平成七年度総代会で可決された事業の推進状況の説明に入った。そして、午後一時無事終了しました。参加者はAさんは「大変勉強になりました。こうゆう機会があれば是非参りたい」と述べられました。その後、質疑、応答と県組合に要望やご意見が出されました。

今後の事業の計画推進協力をお願ひました。その後、質疑、応答と県組合に要望やご意見が出されました。

午後二時無事終了しました。参加者はBさんは「役員さんも遠いところ大変でしたので感謝申し上げます。

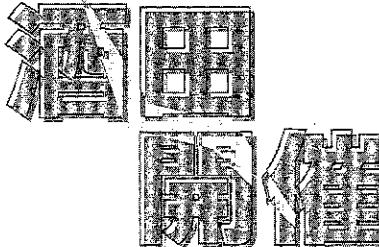
商売もだんだん大変になるの」

参加者Cさんは「直接県組合役員と話しきていいです。」などな

どありました。この会議の開催に当たり酒田支部長はじめ支部組合員の皆様また関係各位に対しても心

から感謝申し上げます。

平成7年度地方会議



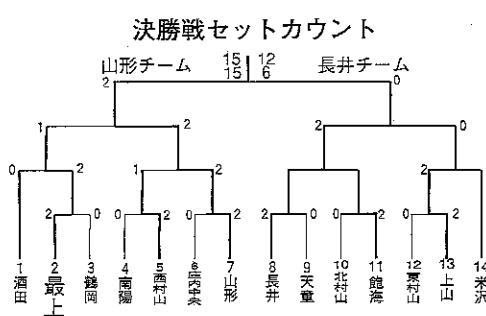
平成7年度村山理容協議会（松田強三会長）の定期総会が十一月六日（月）午後三時より村山市クラハウス基点でブロック支部より三役と専修講習担当者等の参加を得て本年度事業の検討に入った。松田強三会長の挨拶は「本年度の県事業の推進に対する協力に感謝し、変革する業界に協議会挙げて対応したい。」と述べられた。続いて、梅津理事長が来賓として、出席され祝辞を頂戴した。議長に松田会長、書記に鈴木直信北村山支部長が当つた。

（一）ビニ・バレー大会に助成金三〇〇〇〇円（今回限り）する。（五〇〇〇〇円）
 （二）村山ブロック講師会に助成金三〇〇〇〇円（今回限り）する。（五〇〇〇〇円）
 （三）来年度県競技大会審査員・監視員の件。

文化展に静かなB.G.Mを流したらどうでしょうたいへん良いと思う。来年からぜひ実施したい！理容の健保組合は作れないか兵庫県の職能型健保もあるが厚生省では認可しない方針従業員に労災に対する補助金制度を取り入れたいインター制度や通信課程もなくなるのか具体的には8年度に国から示めされると聞いている。入学制度について高卒からと云うが中卒では資格が取れないのか平成10年以降と云う事なので当分の間は中卒でもなれる互助会について床下浸水や雪事故の査定はどうなっているのか互助会の規定に基づいて査定している療養制度の年齢70歳では早すぎないか又互助会の運営についてはどのようにして行くのか70歳以上の現役の組合員も沢山いるので今後検討したい互助会運営もきびしくなっているが10年先を見込んで改正する必要がある定款の見直しはどの点を見直すのか現在整理しているので申し上げられない専門委員を作り作成した後に総代会で承認して頂く共済（生命保険）について高齢の廃業した人の救済法は廃業しても保険料はかけられる適正化規定について組合員に内容をくわしく伝えてほしい適正化規定が廃止になってしまって組合員は団結して行けるので何ら心配はいらない。理容展望をもっとよく読んでほしい。

自動車保険について今後考えて行きたい事業部（県の商品）をもっと早く送れないかなるべく努力したい女性部ビニバレーについて人数不足で参加出来ないチームもあるが若干の外部者を入れても良い競技会でタイムで失格者を出すのはきびしすぎないかタイム係は忠実に役目を守っている管理講習とビニバレー大会の日程をダブルさせないでほしい今後充分注意したい

八 専修講習会の現状と今後の日程について
 九 平成7年度事業報告（その他
 県組合各事業協力）
 一〇 平成7年度会計報告（監査報告）
 一一 平成7年度事業報告（その他
 支部長が当つた。）



十一月	十二月	一月	二月	三月	四月
全理連理事会	三役会議	新春懇談会	第二回理容師美地試験	山形環境衛生営業指導センター理事会	定款検討委員会
三役会議	三役会議	新規会議	大学科	三役会議	三役会議
三役会議	三役会議	新規会議	三役会議	三役会議	三役会議
三役会議	三役会議	新規会議	三役会議	三役会議	三役会議

行事予定

